

令和3年度 学校評価委員会・第3回学校評議員会 会議録

1 日時・場所 令和3年2月17日(木) 16:00～: 硯ヶ丘記念館

2 出席者 学校評議員2名、PTA役員3名、
校長、全・定教頭、事務部長、主幹教諭、教務主任

3 主な内容

(1) 学校からの説明

○本年度の取り組みについて

①全日制課程 ②定時制課程 ③翔洋丸

○令和3年度学校評価について

①自己評価最終報告 ②保護者、学校評議員アンケートの結果 ③生徒授業評価結果

(2) 学校評議員、PTA役員からの質問・意見等

(PTA) 頭髪指導が厳しいという意見がある。子供が一年生の時はそう感じたことがあったが、三年間で社会に送り出すという学校の方針がわかってきて、指導の厳しさも理解できるようになった。

(PTA) さくらメールをLINEで受け取っているが、一回一回開かないといけないので面倒になった。

(PTA) アプリで受信すると簡単。

(学 校) さくらメールの受信方法は複数あるので、合格者説明会の時に、それぞれの受信方法の良い点・不都合な点を説明するようにしたい。

(評議員) 専門高校というのは一般的に、明確に目的意識を持って入学する生徒とそうでない生徒の差が大きいと思う。先生方には、長い目で生徒を見て、特に中間層を引き上げる指導をしてもらえたらよいと思う。校則に関する指導が厳しいのではないかと、という保護者の意見があるようだが、社会の一員となる準備段階だからということ意識しての教育は必要だと思う。

(評議員) 魅力ある学校なのにそれが十分伝わっていないようである。外部の人に学校を見てもらう機会を作ることはとても大切だと考える。今年の公開展はとてもよかった。先生方は大変だろうが、ぜひ毎年実施してほしい。三年に一回だと在学中に一度しか体験できないことになる。一年生の時と三年生では感じるものが違うはずである。

(学 校) 学校としても、情報発信をより一層充実させる必要性を痛感している。公開展も毎年実施する方向で現在検討している。

(PTA) コロナの影響で、直接会って話をする機会も減り、PTA関係の会も参加者を制限して開催せざるをえない状況で仕方がないが、学校の考えが伝わりにくくなっているのが現状だと思う。しばらくこの状況が続くことが予想されるので、学校にはよりよい意思疎通の方法を考えてほしい。

(学 校) 課題として認識している。検討していきたいと思う。

(以上)